

### 3-14 $\alpha$ トラック法による国府津-松田断層のラドン濃度の定期観測 (1980年2月~1986年9月)

#### Weekly Observation of Radon Concentration around the Kozu-Matsuda Fault Using $\alpha$ Track Etch Method

地質調査所

Geological Survey of Japan

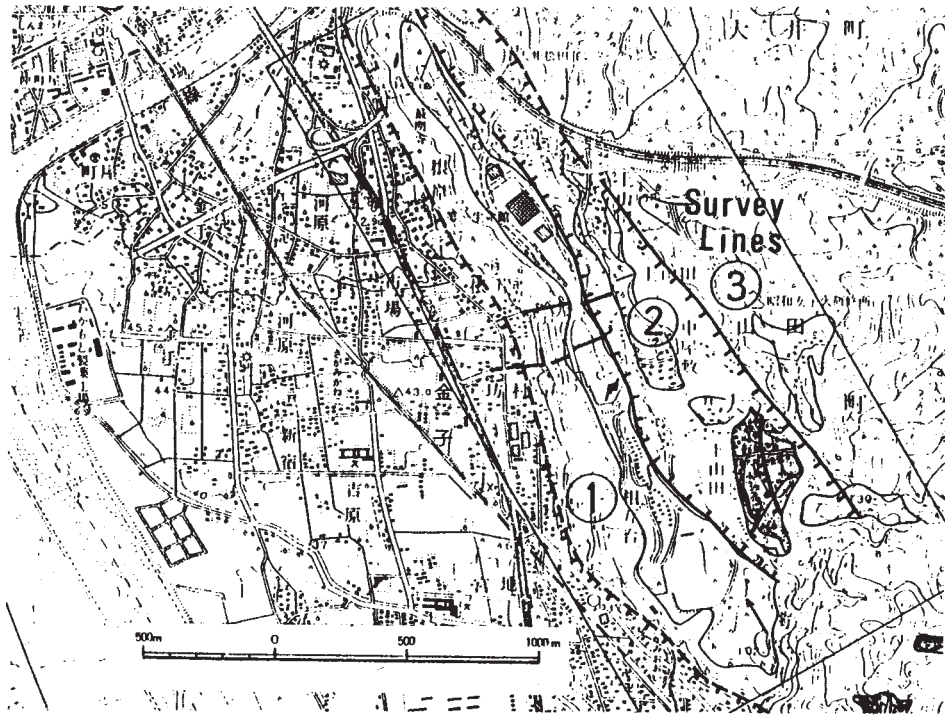
前回<sup>1)</sup>にひきつづき、神奈川県大井町相互台の国府津-松田断層を対象とした $\alpha$ トラック法によるラドン濃度の定期観測結果(1980年2月~1986年9月)を報告する。

観測地点を第1図<sup>2)</sup>に、8ヵ所の定期観測孔の位置を第2図<sup>3)</sup>に示す。8観測孔のトラック密度の平均値と5週間の移動平均値を第3図に示す。この図からラドン濃度が1983年1月頃より増加していることが認められる。

(加藤 完)

#### 参 考 文 献

- 1) 加藤完： $\alpha$ トラック法による国府津-松田断層のラドン濃度の定期観測，連絡会報，**31** (1984)，211-214.
- 2) 神奈川県：三浦半島および国府津・松田地域の活断層に関する調査報告書，神奈川県地震災害対策資料，(1982)，82-171.
- 3) 加藤完・池田喜代治・高橋誠・永田松三： $\alpha$ トラック法による神縄および国府津-松田地域の調査，第四紀研究，**21** (1982)，67-74.



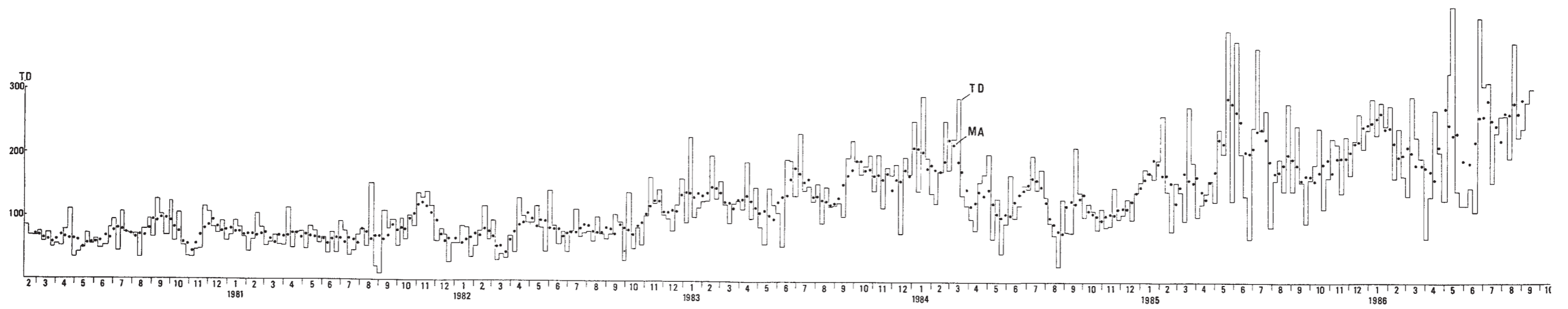
第1図 国府津－松田断層位置図（神奈川県地震災害対策資料より一部加筆）断層番号①金子台と沖積面との境界，断層番号②金子台と山田地溝との境界，断層番号③大磯丘陵と山田地溝との境界

Fig.1 Location of Kozu-Matsuda fault.



第2図 測線上の定期観測孔配置図（黒丸印）

Fig. 2 Location of the monitoring observation hole on the survey lines (closed circle).



第3図 8観測孔のトラック密度の平均値と5週間の移動平均値  
 TD：トラック密度 MA：移動平均

Fig. 3 Temporal changes in the average of eight track density and five weeks moving average. TD: Track density; MA: Moving average.